

## 問 上水道の耐震化についての考えは

答 スピード感をもって取り組む

**問** 昨年1月の能登半島地震では、上水道施設に甚大な被害が出た。特に基幹施設の耐震化が遅れていたことが、広範囲での断水や復旧の長期化につながったと指摘されている。本村の上水道施設の耐震化の状況について、取水口から一般家庭までの管路別の状況と今後の計画を伺う。

**答** 口径300ミリメートル以上の基幹管路の耐震化率は75%となっているが、基幹管路は配水管網の根幹であるため耐震管へ更新をしながら耐震化率100%を目指します。



新政とうかい  
おおうち のりお 議員  
大内 則夫



県水を受け入れる須和間配水場

スピード感を持って取り組んでいく。  
取水場ポンプ室の耐震工事は、今年度耐震診断の業務委託を実施し、ポンプ室の現状の耐震性が判明する。「耐震性無し」の場合は、補強工事になるのか、建て替えが必要となるのか時期を含めて判明する。外宿浄水場の耐震工事はすべて完了している。須和間配水場は耐震基準に合致している。耐震化が全て終わっている施設は導水管・浄水場・配水場となっている。

## 問 文化団体の活動支援は

答 諸活動の魅力伝承の機会を創出

**問** 村内の文化団体は、活発な活動を展開しており、その功績は顕著であるが、参加者の高齢化も相まって、今後活動の継続が困難になりつつある。文化団体の現状の活動に対する本村の受け止めと支援状況はいかに。

**答** 文化活動は伝統文化の継承だけでなく、豊かな人間性を育みながら、コミュニティの形成などの役割も担っていると考えており、引き続き活動の場の提供や、新規会員の獲得に向けた取り組みなどを支援する。



新政とうかい  
み かみ おさむ 議員  
三上 修



村立東海病院に掲示された作品

動実績をどのように構築しているのか。また、新規会員の獲得活動の具体的支援策はいかに。

**答** 東海村文化協会が発行する広報紙、ホームページへの掲載などにより記録・管理している。

新規会員の獲得に向け、体験教室や講座の開催、活動成果を発表する場を提供し、多くの村民に諸活動の魅力を伝える機会を創出する。